

## 2021 年度前期特定機能病院監査報告書

－慶應義塾大学病院－

2021 年 4 月 1 日から 2021 年 9 月 30 日までの 2021 年度前期の慶應義塾大学病院（特定機能病院）監査委員会（以下「監査委員会」という）における監査結果を以下のとおり作成したので報告する。

### 1. 監査の概要（方法及びその内容）

医療法施行規則第 15 条の 4 の 2 に規定される監査委員会として、慶應義塾が設置する監査委員会において管理者等からの報告に基づき、医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者、感染制御部門等の業務を監査した。監査対象となる責任者、部門、委員会については、業務の執行状況等について 2022 年 2 月 7 日に開催した監査委員会において、当該担当者等から資料の提出及びに報告を受け、必要に応じて説明を求めた。

#### 《監査項目》

- 1) 医療安全管理部門について
- 2) 医療安全管理委員会について
- 3) 医薬品の安全管理について
- 4) 医療機器の安全管理について
- 5) 医療放射線安全管理について
- 6) 感染制御部門について
- 7) その他必要と思われる事項

### 2. 監査結果

監査委員会において、2021 年度前期における医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者、感染対策運営委員会等の業務の状況等について審議した結果、医療に係る安全管理が適切に実施されていることを確認した。年々、全体的に医療安全業務が改善され強化されているので高く評価したい。特定機能病院として模範になるようさらなる内容の充実を図っていただきたい。

### 3. その他意見、提案事項等

- ・研修医のインシデント・アクシデント報告数の増加は高く評価できるが、上級医からの報告数の増加に繋がっていない。研修医を含め単なる義務ではなく医療安全の中における医師の役割を考え報告数が増加するよう医師の意識向上に努めていただきたい。
- ・全病棟に薬剤師が配置されたが、薬剤師の役割、看護師との共同体制が確立されていない。せっかく全病棟に薬剤師が配置されたので、その活用方法、役割分担を考え、より一層看護師から高く評価されれば、医療安全の向上に繋がっていくので、ご検討いただきたい。
- ・少しずつ手指衛生遵守率は上がっているが、新型コロナウイルスが猛威を振るっている中で手指衛生遵守率 80%は決して高い数字とはいえない。全教職員の意識を高め、さらなる強化を検討し、手指衛生遵守率 100%を目指していただきたい。
- ・2回目の新型コロナウイルスワクチン接種をしていない研修医が、他の職種より高いので、意識向上に努めワクチン接種率 100%を目指していただきたい。

慶應義塾大学病院特定機能病院監査委員会

2022年3月22日

委員長	山口	徹
委員	市村	尚子
委員	中谷	比呂樹
委員	宮沢	忠彦
委員	山口	育子